



東海道品川宿

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会

ハツ山 — 品川橋

- 昭和の史跡、ゴジラ上陸地点: 日本の映画史上に残る名作「ゴジラ」で、ゴジラが上陸の第一歩を印すのがこのハツ山陸橋。B-ロ
●家光、沢庵の問答河岸の碑: 江戸時代このあたりの旧東海道はすぐ東側が海。家光と沢庵が問答を交わしたとされる。B-ロ
●名物・屋形舟が浮かぶ品川浦: 昔の狐師町の面影が残る。現在のはつり舟や屋形舟の発着場としてにぎわっている。B-ロ/ハ
●幕末史でおなじみ土蔵相模跡: 高杉晋作、伊藤俊輔(博文)など、幕末の志士たちが密議した大校舎があった。B-ロ
●北品川宿の鎮守、品川神社: 祭神は女性の「天比理乃咩命」。徳川家ゆかりの社。6月の大祭は北の天王祭と呼ばれ、53段の石段を神輿が上り下りする様かみもの。千貫神輿と呼ばれる大神輿は有名。
境内には宝物殿(正月や祭礼時に公開)や、国の文化財「江戸里神楽」を上演する神楽殿、富士塚、板垣退助の墓所などもある。C-ロ
●御殿山下の砲台(台場)跡: 台場小学校の敷地は幕末の砲台跡を示す5角形。品海橋を築いた石や、品川灯台のレプリカも残る。B-ハ
●江戸時代の鯨が眠る鯨塚: 11代将軍家斉の代に、品川沖に迷い込んだ鯨の骨を葬った塚が、利田神社境内に残る。当時の騒動を伝えた「かわら版」の写しも残っている。B-ハ
●名工・長八が残した「こて絵」: 伊豆長八は幕末から明治初期に活躍した左官工。その凄腕こて絵は、「東洋のプレスコ画」として名高い。寄木神社本殿の内扉にはユーモアたっぷりな作品が、また善福寺本堂正面の上部には力強い龍の作品が残る。C-ハ B-ロ
●知恵を授けてくれる虚空蔵尊: 虚空蔵尊

- 美願寺は、丑年、寅年の守り本尊。13歳でお参りすると福德知恵が授けられると伝えられている。毎月の7日には縁日が開かれる。大祭は4月と11月の13日に近い土日。C-ロ
●成田山の分身、一心寺: 旧東海道の海側にある唯一のお寺。成田山の分身である不動明王が本尊で、延命と商売繁盛を授けてくれる。毎月28日が縁日。C-ハ
●歴史を伝える美しい店舗: 星野屋金物店、丸屋(服物店)など、旧道らしい店構えの店を探すのも楽しい。C-ハ
●聖蹟公園は品川宿本陣跡: 江戸時代、大名が宿泊する本陣が置かれた。また明治天皇が休息したため聖蹟の名がつけ。聖蹟とつく場所は都内でも少ない。C-ハ
●「品川宿交流館」「駄菓子屋またあした」: まちの有志たちで運営する無料お休み処。懐かしい駄菓子の販売のほか、品川宿に関する様々な展示をしている(毎週月曜定休)。C-ハ
●品川橋: 江戸時代には「中の橋」「行達(ゆきあひ)橋」と呼んでいた。また北品川宿と南品川宿の境にかかることから「境橋」とも言われました。C-ハ
●日本のガラス工業発祥の地: 官営品川硝子製造所の跡。レンガ造りの建物は、現在は愛知県明治村に移築されている。C-イ
●ビッグネームが眠る大山墓地: 東海寺大山墓地には巨大たくあん石の下に眠る沢庵和尚や、鉄道父・井上 勝、国学者・賀茂真淵などの墓がある。C-イ
●たくあん誕生の地、東海寺: 徳川家光が沢庵を開山に迎えて建てた。たくあん漬け=たくあんが考案された地でもある。狩野探幽の筆と伝えられている「沢庵和尚画像」ほか、文化財も多数。C-ロ
●春は桜、秋は紅葉の御殿山: 江戸時代の昔から行楽の名所。今も緑が多く往時の面影が残る。特に御殿山トラストステーション内の庭園は四季の変化が美しく散策にぴったり。B-イ
●今もまことに残る横町の名前: 旧東海道品川宿を歩くとき、それぞれの横町に歴史を感じさせる名前があることに気づく。
●現代美術のメッカ、原美術館: 1930年代

- に建てられたモダンな建物は実業家、原邦造の邸宅だった。ミュージアムショップ、カフェもおしゃれで人気がある。B-イ
●北品川宿と南品川宿を分ける品川橋: 江戸時代、東海道五十三次では日本橋から数えて4つ目の橋。橋の上が庭園になっているのは珍しい。C-ハ
●品川橋 — 青物横丁
●東・南品川の鎮守、荏原神社: 奈良時代の創建。平安時代には源頼義・義家(阿部一族)を討つ際、府中の大國魂神社とこの社を参詣し、品川の海に出て戦勝を祈願した。初夏の大祭は南の天王祭と呼ばれ、氏子13町会の神輿が連合で練り歩く。また、神輿を海にくり出す勇壮なかつぱ祭は有名。以前は目黒川が社の北側を流れていた。C-ハ
●『浮浪雲』の舞台、問屋場跡: ジョージ秋山のマンガに江戸時代のこのまちの様子が描かれている。D-ハ
●区内屈指の古建築、海徳寺: 本堂は1751年建築当時の古材を再利用して建て替えられた。特に軒下の彫刻は見物。釈迦生誕像は、著名な彫刻家・長谷川昂の作品。C-ロ
●品川宿の誇り高木正年、妙蓮寺: 品川宿出身の巨首の偉大な政治家・高木正年をはじめ、槍の達人・丸橋忠弥などの墓がある。C-ロ
●お地藏様をしばって病を治す願行寺: 「しばり地蔵」は首が取れるようになっていて、祈願する人は首を持ち帰り、治れば首を二つにして奉納する。地蔵堂には奉納されたたくあんが並ぶ。D-ロ
●おもむきのある石畳: 旧東海道はハツ山から青物横丁まで、歩道部分の石畳がつつく。地元で進める「まち並み整備事業」の成果のひとつだ。C-ハ/E-ロ
●大正時代の職人の家、松岡畳店: 海に近く浜風が強かったため、このまちには低い二階建ての家が多かったという。D-ハ

- 絵図も見もの。D-ロ
●目黒川に画した松の寺、本光寺: 沢庵和尚が立会いをした「品川問答」で知られる寺。区内では珍しい三重塔が目印。C-ロ
●投げ込み寺、海蔵寺: 行き倒れや身寄りのない遊女を葬った無縁塚、供養塔などが多い。D-ロ
●黄檗宗の寺、大龍寺: 絵画、彫刻などの文化財が多い。香国禪師の墓は中国風で東京では珍しい。C-ロ
●天龍寺のレンガ塀: 目黒川沿いのこのあたりが京浜工業地帯の発祥の地。その名残のレンガ塀が散在する。C-イ
●看板建築のメッカ、ゼームス坂: ハリエンジュの並木道に銅ぶきの正面をもつ「看板建築」が残っている。D-イ
●庄巻! 高さ3m余の巨石墓、清光院: 徳川家譜代の大名・奥平家の巨大な五輪塔が約80基も並んでおり、壮観。都内では貴重なもの。能楽師・金春家と大蔵家の墓もある。C-イ
●ペンキ発祥の地、日本ペイント明治記念館: 明治42年当時の赤レンガ造りの建物が残っている。館内は見学もできる。C-イ
●高村智恵子の「レモンの碑」: 智恵子が最後の日々を送ったゼームス坂病院があった場所。地元の有志が建てた碑がある。D-イ
●旧仙台坂と仙台坂遺跡: この一帯に仙台藩の下屋敷があり、伊達家にちなむ遺物が数多く出土した。E-イ
●天妙國寺に眠る有名人: 日蓮の直弟子・天目上人が開祖。切られ与三郎とお富、剣豪・伊藤一刀斎、浪曲の桃中軒雲右衛門、新内の鶴賀新内などの墓がある。将軍家の保護を受け、文化財も多い。D-ロ
●おもむきのある石畳: 旧東海道はハツ山から青物横丁まで、歩道部分の石畳がつつく。地元で進める「まち並み整備事業」の成果のひとつだ。C-ハ/E-ロ
●大正時代の職人の家、松岡畳店: 海に近く浜風が強かったため、このまちには低い二階建ての家が多かったという。D-ハ

- 旅人の安全を見守る江戸六地藏、品川寺: 区内最古の寺。旧東海道に面して鎮座する江戸六地藏(第1番)が、今も道往く人の交通安全を見守っている。ジュネーブ市と品川宿との友好のきっかけとなった洋行帰りの鐘や、樹齢六百年の大イチョウも有名。E-ロ
●新撰組ゆかりの旅籠屋釜屋跡の碑: 新撰組の定宿でもあった釜屋。その跡には、地元有志の手により碑が建立された。E-ロ
●品川の荒神さま、海雲寺: 火と水の神、千手荒神の寺として親しまれている。3月と11月の27・28日の大祭には、参拝者で大変な賑わいになる。E-ロ
●人気のデートスポット、天王洲アイランド: ショッピング街、レストラン、ホテルなどがある新しいまち。水辺の風景が人気。A-ハ
●ロマンチックなボードウォーク: 板張りのデッキは眺めがよく散歩にぴったり。岸壁の石積みにはお台場の右が残っている。A-ハ
●ウエディングにも人気のクリスタルヨットクラブ: 気軽なランチタイムクルージングから豪華な洋上パーティまで、楽しみ方はいろいろ。クラブ内にはフランス料理レストランもある。A-ハ
●江戸名所図鑑にも描かれた海晏寺: 江戸時代には紅葉の名所とされた。岩倉具視など、多くの著名人の墓がある。E-ロ
●俳句ファン必見の泊船寺: 松尾芭蕉ゆかりの「俳句の寺」。芭蕉とその弟子たちの坐像がある。境内には句碑も多い。E-ロ
●まんじゅう伝来の来福寺: かつては品川の海が望めた高台にある。山門は140年以上前のもの。境内には雪中庵夢太郎の句碑や、「饅頭の祖」林淨因の碑などもある。E-イ

- 狐師町の歴史を伝える 鮎洲八幡神社: 境内には地元の狐師たちが寄進した狢犬や灯ろうなど、珍しいものが多い。江戸城御用の魚を納める「御菜肴八方籠」の一つ「御林狐師町」だったこの地域の鎮守ならではの。8月には夜祭りが行われる。E-ロ
●間魔寺の嶺雲寺: 石造りの間魔王坐像は300年以上前のものとか。E-ロ
●「狐」の字を用いる狐師町: 海に面し、漁村としても栄えた品川宿周辺では、古くから「狐」の字を当てて、狐師町と書く。
●龍馬と花海道: 立会川河口の浜川砲台跡は、坂本龍馬が黒船来襲の警備に通った場所。勝島運河は花海道が有名。F-ロ
●今生の別れを告げた「なみだ橋(浜川橋)」: 鈴ヶ森の刑場に引かれる罪人と縁者が、涙ながらに別れた場所。歌舞伎や小説にもしばしば登場。F-ロ
●イルカショーが人気のしながわ水族館: 都内で唯一のイルカやアシカのショーが楽しい。水中トンネルは、魚たちと一緒にの世界にいる気分になさせてくれる。F-ロ
●家族で楽しめる、しながわ区民公園: 人工の海水池「勝島の海」では、水鳥が遊ぶ。スポーツ施設もいろいろあり、春は桜もきれいだ。F-ロ
●幕末の四賢侯、山内豊信(容堂)の墓: 容堂は最後の土佐藩主として藩の立て直しに力を発揮した。その下屋敷跡で明治2年、日本で初めてビールが醸造された。E-ロ
●木の芽坂、へびだんだん、ヘルマン坂: 国道から大井町方面へ抜ける道はいずれも急坂だが、眺めよく緑も多いので、坂めぐりも楽しい。E-イ/F-イ
●江戸のお仕置屋敷、鈴ヶ森刑場跡: 処刑第一号は歌舞伎でも有名な槍の達人・丸橋忠弥(1651年)。以後、平井権八、八百屋お七が刑場の露と消えた。廃止されたのは明治4(1871)年。F-ロ
●銘水・柳の清水が湧く大井の水神: 古くから

- ら歌われている水神。今も清水が湧いている。F-イ
●桜の名所、南大井: 浜川公園は花見の人気スポット。桜新道は八重桜の並木が美事。F-イ
●フリーマーケットや音楽イベントで人気の大森北ポルポ: いすゞ自動車の再開発ビル。ユニークな企画のイベントには定評がある。F-イ
●まちの歴史、横丁の由来がわかる案内看板: まちの有志の手によって、まちのそこそこ小さな高札がかけられている。
●旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会 連絡先: まちづくり協議会事務局<品川宿交流館> 140-0001 東京都品川区北品川2-28-19 TEL.03-3472-4772 FAX.03-3472-4770 URL: http://shinagawa-syuku.net FB: https://www.facebook.com/shinashuku Eメール machikyoo@west.cts.ne.jp

- まちのカレンダー
1月1日 初詣 各神社
1月2日 新春餅つき大会、のだて会 品川神社
毎月28日 後緑日大護摩供、ほうろく灸 一心寺
2月3日(立春) 節分の豆まき 各神社
2月11日または初午に近い日曜 初午*日程は各神社にご確認ください 各神社
3月27日、28日 千林荒神 春季大祭 海雲寺
4月 春の大祭・太神楽 品川神社
4月11日~4月12日(ご確認下さい) しながわ運河まつり 東品川海上公園
4月の13日に近い土日 虚空蔵尊 春季大祭 養願寺
4月30日 潮盛譚(大國魂神社海上模範式) 荏原神社
5月下旬~6月初旬の 南の天王祭 品川神社
金曜~日曜 北の天王祭 北の天王祭
6月30日 大蔵い・茅の輪くぐり 荏原神社/品川神社
7月1日 品川富士山開き 品川神社
7月下旬~8月 盆踊り 各地
9月下旬 しながわ宿場まつり 東海道ハツ山から青物横丁
品川寺
北品川
願行寺
天妙國寺
荏原神社
養願寺
品川神社
海雲寺
荏原神社/品川神社
(品川寺、東海寺、心海寺、本光寺では鐘を叩かせてもらえます)
*なお、祭礼などの日程は、変わることがあります。
『東海七福神めぐり』1月1~15日、2月3日(立春)
品川神社(大黒天) 養願寺(布袋) 一心寺(寿老人) 荏原神社(恵比須)
品川寺(毘沙門天) 天祖諏訪神社(福祿寿) 磐井神社(弁財天) 大田区大森北2-20-8
東海道 品川宿交流館
1階: 本宿お休み処(無料休憩処)
2階: 品川宿の歴史と文化を知る展示室
どうぞ、お気軽にお立ち寄りください!
品川宿観光案内所
北品川・ハツ山の「海鮮パルスカラ」ではしながわ観光協会のボランティアガイドのみならず、品川宿を案内しています。どうぞお気軽にお声をかけてください!
土日、祝日に限りオープンです。
ご利用ください!
品川宿観光案内所
北品川・ハツ山の「海鮮パルスカラ」ではしながわ観光協会のボランティアガイドのみならず、品川宿を案内しています。どうぞお気軽にお声をかけてください!
土日、祝日に限りオープンです。
Facebookページはこちら